

日本のアートフォト、世界的ムーブメントに！ サザビーズ香港とアマナが共同でアート写真展を開催



上野公園(©Daido Moriyama, Colors, Tokyo Parrots(©Yoshinori Mizutani, Did you sleep well(©Maya Akashika, Noir(©Mika Ninagawa

ビジュアル・コミュニケーション事業を展開する株式会社アマナ(本社:東京都品川区、代表取締役社長:進藤博信)は、2015年6月26日(金)より、世界最古の歴史を誇るオークションハウスであるサザビーズの香港ギャラリーにて「SHASHIN! Japanese Photography Then/Now」展を開催することとなりました。なお、本展覧会ではすべての展示作品が購入できます。

■ 「SHASHIN」という独自文化を世界へ発信

本展覧会では、1997年の香港返還直前に荒木経惟によって撮影された未発表シリーズ「Hong Kong Kiss」が展示されるほか、森山大道ら日本写真を代表する巨匠から、国内外で人気を誇る川内倫子や蜷川実花、さらには水谷吉法、Nerhol などの注目の新鋭若手写真家まで、戦後の日本写真を鳥瞰できるユニークな展覧会となっています。

英語の Photography は日本語では「写真=SHASHIN」と訳されますが、欧米を中心とした Photography と日本の SHASHIN の間には、その概念と世界観には異なるニュアンスを含んでいます。これまで欧米の写真史のコンテキストとはほとんど密に交わることなく独自に進化発展してきた SHASHIN。この「SHASHIN! Japanese Photography Then/Now」というタイトルには、日本写真のまだ充分には知られていない魅力と文化的価値を世界のアートファンに伝え、広めたいという思いが込められています。

今回の展覧会は、当社でアートフォトビジネスを手がけるソリューションブランド「IMA」「amanasalto」をはじめ、国内・国外で写真ギャラリー事業を展開する「アマナエーエヌジー」「アマナジェイケージー」「アマナティーアイジー」など、アマナグループのリソースを最大限に生かした見ごたえのある作品ラインナップとなっています。

■ 世界的な日本のアートフォトブーム、到来!?

海外ではアート写真を楽しむ文化が一般化していますが、特にここ数年では新たに大規模なフェアが開催され、オークションでは異例の高額をつけるなど、アートフォトへの関心が高まっています。中でも日本人写真家による作品は高い人気を誇り、2012年にロンドン・テートモダンでは森山大道とウィリアム・クラインとの展覧会が開催され、話題を呼びました。また2014年の権威ある写真集賞「Aperture Photobook Award」などでは受賞者35名のうち日本人が6名受賞しています。そして今年に入り世界的インターネット通販 amazon もアート作品の国内販売を本格始動するなど、いま、日本国内における市場も活気づいています。この追い風を背景に、当社は国内外の懸け橋となり、日本の写真文化を世界に発信するとともに、国内のアートフォト市場の発展に寄与していきます。

■ 開催概要

イベント名: SHASHIN! Japanese Photography Then/Now
場所: Sotheby's Hong Kong Gallery
5/F, One Pacific Place, 88 Queensway
会期: 2015年6月26日～7月10日
時間: 月～金 10am-6pm
土 11am-5pm
日曜・祝祭日休み
参加作家: 植田正治、細江英公、森山大道、荒木経惟、田原桂一、川内倫子、鈴木崇、
赤鹿麻耶、加納俊輔、水谷吉法、Nerhol(順不同)

株式会社アマナ 会社概要

代表者 代表取締役社長 進藤博信
所在地 東京都品川区東品川 2-2-43
設立 1979年4月
資本金 10億9,714万円
証券コード 東証マザーズ 2402
売上高 (連結)209億66百万円 ※2014年度12月期実績
従業員数 (単体)446名／(連結)1,064名 ※2015年4月1日現在
事業内容 ビジュアル・コミュニケーション事業
URL <http://amana.co.jp/>